



写真 1

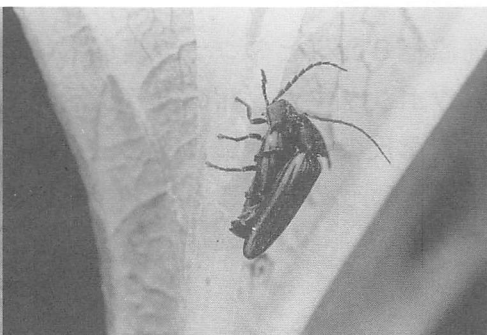


写真 2

スジグロボタルの♂♀のコミュニケーションは、オバボタルと同様であるらしく、性フェロモンによるケミカル・コミュニケーションが成立している可能性が示唆されている（大場，1986）。今回観察された交尾前の集合行動は、この可能性を裏づけるものと思われる。今後、産卵場所や幼虫の食性などにも興味をもたれる。

参考文献

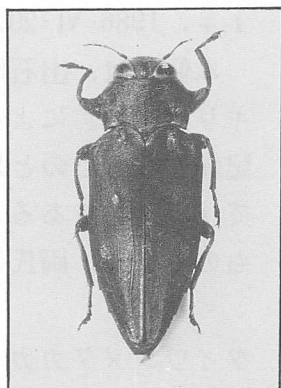
大場信義（1986）ホタルのコミュニケーション。東海大学出版会。

温泉町でオオムツボシタマムシを採集

佐藤邦夫

筆者は、兵庫県では珍しいオオムツボシタマムシ *Crysobothris ohbayashii* を採集しているので、報告する。

1 ex., 1981-VII-13, 美方郡温泉町竹田



胸高直径8 cmほどのコナラ衰弱木にいたものを採集した。体が大きいためか、他のムツボシタマムシ類のように活発ではなかった。

谷角素彦氏の御教示によると、兵庫県では三木市で採集されているが、但馬では初記録ということである。発表を勧められた同氏にお礼を申し上げる。

参考文献

黒澤良彦 (1985) 原色日本甲虫図鑑 (Ⅲ)。保育社。

但馬におけるナカネアメイロカミキリ・ タイワンメダカカミキリの採集例

前平照雄

筆者は、但馬で未記録と思われる2種のカミキリを採集しているので、報告したい。

ナカネアメイロカミキリ *Obrium nakanei* (写真1)

1 ♀, 1986-VI-29, 兵庫県出石郡出石町三木, 前平照雄採集

本個体は、出石町三木にある製材所内で採集した。『日本産カミキリ大図鑑』によると、本種の兵庫県の分布は空白で、県下でも初記録になるものと思われる。なお、この個体は佐藤 (1987) によって *Obrium* であると指摘をうけ、谷角素彦氏に同定していただいたものである。両氏にお礼申し上げる。

タイワンメダカカミキリ *Stenhomalus taiwanus* (写真2)

39exs., 1987-V-18~VII-7, 兵庫県豊岡市下陰, 前平照雄採集